



ハローワーク酒田からの ワンポイントアドバイス ～面接編～

選考において、面接は大変重要です。以下のポイントを押さえて臨みましょう

面接前の準備

① 求人票、会社案内を確認しましょう

応募先の求人票や会社案内などをよく読んでおきましょう。また、質問事項を2～3用意しておくとい良いでしょう。

① 履歴書、職務経歴書の内容を確認しましょう

自分の作成した履歴書、職務経歴書の内容をよく読み、面接で簡潔に説明できるようにしておきましょう。応募書類を事前に提出する場合はコピーをとっておきます。

① 面接場所を確認しておきましょう

当日になって焦ったり、迷って遅刻することのないように、面接場所は事前に確認しておきましょう。

① 時間の余裕を持ち、面接時間前に到着しましょう

面接に遅刻は厳禁です。余裕を持って家を出て、面接時間の10分前には到着できるようにしましょう。

面接に必要な持ち物

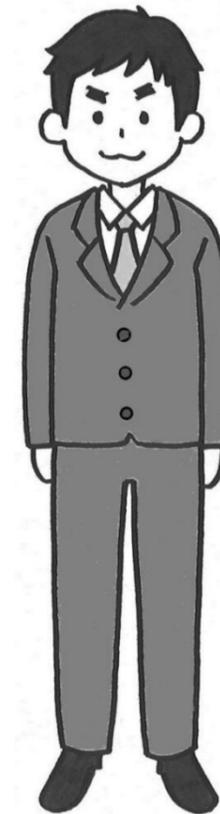
- ハローワークの紹介状
- 履歴書
- 職務経歴書（指示されている場合）
- 求人票
- 筆記用具
- 印鑑（指示されている場合）

※その他、資格証等が必要な場合がありますので、紹介を受けた時に確認して下さい。

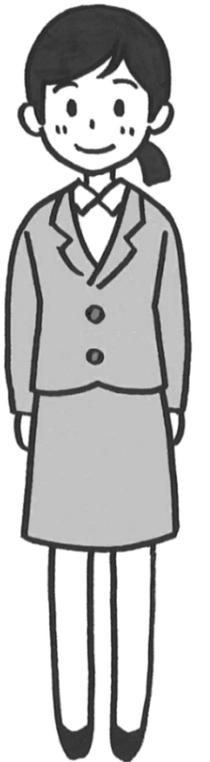


面接時の服装、身だしなみ

第一印象で面接官に好印象を与えましょう。服装、髪型、表情など第一印象からすでに評価は始まっています。面接には社会人として清潔感のある服装、身だしなみで臨みましょう。



清潔感のある髪型（茶髪、長髪はNG）
ひげはきちんと剃る
タバコの臭いや強い香水はNG
服装はスーツが基本
アクセサリは結婚指輪以外身につけない
（ピアス、ネックレスはNG）



清潔感のある髪型
長い髪は一つにまとめる
前髪が目にかからないように
過度な茶髪はNG
化粧は濃すぎないナチュラルメイクを心がける
ノーメイクはNG
華やかな爪（ネイル）はNG
強い香水はNG
服装はスーツが基本
アクセサリは結婚指輪以外身につけない
（ピアス、ネックレスはNG）

★睡眠不足の顔では不健康な印象になります。面接前日はしっかり睡眠をとって、健康的ではつつとした印象を与えるようにしましょう。

会社訪問時、面接中のマナー

① 会社訪問時

会社に入った時点から選考されているつもりで、受付の社員等にも丁寧に対応しましょう。コートは会社に入る前に脱ぎ、携帯電話の電源は切りましょう

①入室時

- ・ノックして、「どうぞ」という声があったら「失礼します」と言って室内に入ります。
- ・自分の名前を少し大きめの声ではっきりと名乗り、きちんと一礼します。
⇒おじぎは45度くらいの角度で
- ・「おかけください」、「どうぞ」と言われてから、椅子に座ります。

※先に入って面接官を待つ場合は、特に指示がなければ立ったまま面接官を待ちましょう。座って待つよう指示された場合は、下座の席に座って待ちます。面接官が入室したら、座っていた場合はすぐに立ち上がってあいさつします。



①面接中

- ・面接官としっかり目を合わせて答えましょう。
- ・面接官の質問には、語尾をはっきりと、張りのある声で短く簡潔に答えましょう。
- ・相手の質問の途中で口を挟まないようにしましょう
- ・もし相手の質問の意味が分かりにくい時は、遠慮なく聞き直しましょう



①面接終了後

面接が終わったら、立ち上がって「ありがとうございました」とあいさつします。

感謝の気持ちを忘れずに、謙虚な態度で臨みましょう。その感謝の気持ちは面接態度にも表れます。

面接で必ず聞かれると思われる質問と答えるポイント

①自己PRをしてください

- ・強調する長所を裏付ける仕事上のエピソード、日ごろから心がけていることなどをまとめて伝える
- ・「根性がある」「熱意がある」などの精神論だけでなく、それを裏付ける具体的なエピソードを入れる
- ・アピールできる実績は、具体的な数字をあげて伝える

①以前の仕事内容について話してください(職務経歴)

- ・あらかじめ整理しておいた「職務経歴書」を基本に、できるだけ簡潔に他業界の人にも理解できるように話す
- ・応募先で活かせる経験、スキル、適性を強調する

①なぜ当社に応募されたのですか(志望動機)

- ・その応募先を選んだ基準と理由を明確に伝える
- ・応募先の良い点と、自分が貢献できること(経験、スキル、適性など)を具体的に答える
- ・同業他社ではなく「この会社」で働きたいという意欲が感じられる理由を述べる
⇒応募先の将来性、安定性、経営方針、魅力ある商品などを調べておく



①なぜ前の会社を辞めたのですか

- ・退職した会社への不平不満、批判、消極的な回答は避ける
適性が合わなかった、やりたい仕事ができなかった
人間関係がうまくいかなかった
待遇が悪かった などなど
- ・退職した会社の不満な部分を自己啓発やキャリアアップにつなげて話す
- ・仕事や職場に対する不満が理由で辞めてしまった場合でも、努力した部分を話に盛り込む



答え方のポイント

結論から先に話し、あとから理由・具体的内容を話す
はっきりとした言葉で、早口にならないように話す